

倉庫精練、今期黒字に転換

メキシコ子会社
売却の方針

倉庫精練は14日、20

19年3月期の連結最終
損益が、9億円の黒字に
なりそうだと発表した。

赤字が続いていたが、昨
年親会社になった丸井織
物のノウハウを生かし
て、合繊織物などを拡大
する。赤字となっている
メキシコの子会社も今期

中に売却する方針で、日
本国内の事業立て直しに
集中する。

原材料価格の高止まりに
加え、電気料金の値上げ
などの逆風が吹くが、丸

井織物のもとで生産効率

の向上に取り組む。営業
ノウハウも共有すること

で経営基盤を強化する。
業績改善の足かせとなっ
ているメキシコの子会社

も今期中に売却する考え
で、国内の採算改善に集
中できる経営環境を整え
る。倉庫精練が同日発表
した18年3月期の連結決
算は、売上高が12%増の
37億円、営業損益が2億
円の赤字、最終損益は7
千万円の赤字だった。